1 ビジネスソリューション事業本部の取り組み方針

ビジネスソリューション事業本部で取り組む5つのDXソリューション

2020年6月、佐々木裕氏が株式会社NTTデータ（以下、NTTデータ）ビジネスソリューション事業本部長に着任した。佐々木氏は、2016年からの2年間も同事業本部の本部長としてビジネスソリューションを所掌。COVID-19で急変する社会を背景に新たな取り組み方針について語っていただいた。

ソリューションを軸にNTTデータのビジネスを牽引

この2年間、NTTデータはそれぞれの事業部門において強みを磨き、マーケットにおけるプレゼンスも上がった。

具体的には、ネットワーク領域では、マルチキャリアとしてのネットワークインテグレーションの強みに加え、ServiceNowとSalesforceを活用したMana PlaS™というプラットフォームを構築し、有線、無線、セキュリティの広範囲でのマネージドサービスを展開できるようになった。また、データセンタやクラウドビジネスでは、パブリッククラウドの利用増加を受け、ハイブリッドクラウドにおけるマネージド領域でのソリューションを強化している。

データ活用の領域においては、Trusted Data Foundation™というデータ活用の基盤ソリューションを展開するほか、DataRobot社やSnowflake社との協業を進め、より高度なデータ活用ビジネスを多くのお客様に提供している。

社会が大きく変わる今、私たちに何ができるか？

ご存知のとおり、米中摩擦、COVID-19、温暖化など、世界を取り巻く厳しい環境の中、社会や企業は変革を余儀なくされている。特に日本においては、COVID-19の影響で生活スタイルや働き方は大きく変わり、社会におけるデジタル化の遅れが顕著になった。今後、行政のデジタル化、決済のキャッシュレス化に加えて、教育、診療などのオンライン化も進んでいくだろう。

ビジネスソリューション事業本部は、NTTデータが保有するビルマネジメント事業を行っており1級建築士が従事しているとともに、オフィスデザインなども手掛けてきた。また、ネットワークエンジニア、クラウドエンジニア、データサイエンティストなどの専門家も揃っている。社会が大きく変わる今、専門家が専門領域の枠を超えて議論をすることで、より優れたDXソリューションを提供できるのではないかと考えている。

見えてきた事業機会と3つのキーワード

仮想デスクトップ事業のBizXaaS Office（以後、BXO）1.0は、社内向けのインフラとして提供を始めたことを契機に、2010年より本格的に事業展開を実施してきた。COVID-19の影響によりテレワークが加速し、ここ数カ月は大きく引き合いが増えている。昨今はゼロトラストネットワークの考え方が広がってきており、専用のセキュアなネットワーク環境を用意することなくインターネットやクラウドを活用しつつセキュリティを担保するフレキシブルなワークプレイスニーズも増加している。CASBやEDRといったセキュリティ系の先進テクノロジーを活用し、トータルにゼロトラストの環境を提供するBXO2.0についても本格的に展開している。

こういった事業機会の変化を見る

株式会社NTTデータ
常務執行役員
製造ITイノベーション事業本部長
ビジネスソリューション事業本部長
佐々木 裕氏

に、ソーシャルディスタンスの社会浸透は、働き方の変革に加えて、営業スタイルにも影響を与えていることを実感する。これまで対面での営業が当たり前であったが、様々なバーチャルチャネルを活用した営業活動が必要となっている。Salesforceソリューションを展開するチームでは、非対面チャネル時代の営業プロセスの提案を進めている。

こうした事業機会の変化を捉え、変革に向けて必要なキーワードは３つあると考える。（図１）

図１　事業機会と３つのキーワード

■CONNECT Everything

IoT の進展というより、社会のオンライン化が進むというニュアンスだ。医療、教育に加えて、企業の活動として営業、開発などもオンラインで行われる時代になるだろう。

■Improve FLEXIBILITY

国家間のデカップリングが進む中、製造業にとってはサプライチェーンの見直しが求められた。不確実性の時代を踏まえると、固定化したサプライチェーンから、より柔軟かつ強靭なサプライチェーンが必要となる。クラウドの活用はさらに進むことだろう。どこからでもデータにアクセスができ、アプリケーションを活用できるクラウドをより高度に利用することが期待される。

■Utilize AI/Analytics

多くの社会活動や企業活動がオンライン化されることで、その活動データは蓄積されていく。予測が難しい社会となればなるほど、そのようなデータ活用のニーズは高まっていくだろう。

５つの DX ソリューション

これらのキーワードを踏まえて、私たちは５つの DX ソリューションをお客様に提供していく。（図２）

（各項の詳細は次頁より紹介）

① 不確実性の時代におけるデジタルサプライチェーン
② データを活用したNew Normalの顧客接点のあり方
③ ワークプレイスをデザインする－多様化する働き方へ－
④ ゼロトラスト時代におけるサイバーセキュリティ
⑤ Withコロナ時代におけるシステム運用のあり方

デジタル化の遅れが顕在化した日本ではあるが、今こそ新たな社会の仕組みや企業の活動をリ・デザインするチャンスだ。次なる社会や企業の仕組みに貢献していきたいと考えている。

図２　５つの DX ソリューション